

ご相談は担当書記にご連絡ください

担当書記：工藤 真由

080-5699-0138

メール：kudou@doken-shibuya.jp

発行：北部分会

編集：北部分会教宣部

住所：渋谷区幡ヶ谷2-18-6

電話：03-6304-2315

ほくぶの日々



国会議事堂

改めて意識していただきたいことは、組合から配布される新聞には、建設業に関わる人々の必要情勢が網羅されていることです。

●賛否両論
テレビからでは自分に特化した情報を見極めにくい

「ほくぶの日々」では、分會のイベントのみを報告・通達していますが、「けんちく」では支部で行っている取り組みのすべてを記載しています。

会のイベントのみを報告・通達していますが、「けんちく」では支部で行っている取り組みのすべてを記載しています。

●教宣の新聞製作
今年の教宣学校は、本部「けんせつ」の編集長だった向井光也さんを迎えて「分会新聞をつくろう」の学習会を行いました。

本部の新聞は専従の書記が制作していますが、渋谷支部の新聞は組合員が制作しています。

【分会教宣部】
大鐘 弘資
「ほくぶの日々」では、分會のイベントのみを報告・通達していますが、「けんちく」では支部で行っている取り組みのすべてを記載しています。

●遺伝子組み換え食品GM
食の安全性を知る事
普段スーパーに並んでいる輸入製品の遺伝子組み換え食品は、産業にメリットの多い素晴らしい技術なのですが、そのデメリットについて学びました。

結論から言えば、国内生産の物を食べる様に心掛けGM食品を食べない事で家族を守る。

少し極端かもしれないが、GMは農薬に強い遺伝子を持っているため、農薬を自由に使えるようになつたことが引き起こした問題として、内臓へ

なづ・何・どうして
東京土建一般労働組合 渋谷支部 北部分会
「ほくぶの日々」を配布させていただいている組合員の皆様、土建国保もマイナンバーで面倒な思いもされていりと思想ですが、機関紙と云う新聞についてご理解をお願い致します。
東京土建一般労働組合 渋谷支部 北部分会
「けんせつ」通信員総会の記念講演で得た情報をお伝えしたいと思います。

【分会教宣部】
小泉 淳子
今月は11月10日に、本部「けんせつ」通信員総会の記念講演で得た情報をお伝えしたいと思います。

我が家のソリー・大鐘家30年程使用中のモルタルの壁に、クリスマスツリーを飾りました。大鐘家30年程使用中のモルタルの壁に、クリスマスツリーを飾りました。

メリーカリスマス
クリスマスツリーいつから

キリスト教以前の異教時代に、冬至の魔除けとして常緑樹を家の内外に飾った習慣を起源としていたようです。



普段の買い物で産地確認をお忘れなく

●食料自給率
自給自足の大切さ、国産の物が安心安全です。

「機関紙への情熱と組合新聞の使命」といわれても同じ土壤ではありません。

ただ「読み手の身になつて記事を書く」これは記事には必要なことです。

自分の伝えたいことを見や

すくわかりやすく伝えること

は、自分の生活や仕事でも忘

れていけないと思います。

必要な努力をします。

米不足の裏に隠された日本の農業問題

東京大学 鈴木宣弘特任教授から学ぶ

●日本の輸入はザル
EUでは米国産を禁輸し、日本では豪州産牛肉もダメ、オーストラリアは成長ホルモン使用肉を禁輸している

EUに対しては投与せず、コウロギの粉にもリスクがあるのを注意してください。パン類に含まれている事が多く表示を良く見て下さい。

今年一年誠にありがとうございました。
皆が健康な事を心から願っています。



1月25日(土)
分会新年会を行います。
新宿パークタワー・B1
「エルザ」で行います。
詳細は同封のチラシをご覧ください。
問い合わせは紙面帯部

⇒dokensib@green.ocn.ne.jp